

**地下鉄短信 (第588号) 令和6年1月31日発行**

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 橋田 慶司  
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187

**記事〇 令和6年「講演会」(主催:日本地下鉄協会)を開催****〇 令和6年「講演会」(主催:日本地下鉄協会)を開催しました。**

去る1月29日(月)16時から、東京都千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷「富士東」において、国土交通省大臣官房審議官(鉄道局担当)岡野まさ子様を講師としてお迎えして、「(一社)日本地下鉄協会令和6年講演会」を開催しました。

今回の講演会は、昨年に引き続き、会場での聴講とリモート視聴での併用の開催としましたが、協会会員をはじめ協会関係者・関係団体等から多数の方々に会場にてご参加いただきました。

冒頭、主催者を代表して協会副会長の都筑東武鉄道(株)代表取締役社長の挨拶の後、講演に入りました。

講師の岡野大臣官房審議官は、平成5年に旧運輸省に入省され、鉄道局をはじめ、自動車交通局、航空局、観光庁など、幅広く運輸行政に携われ、令和5年7月に運輸安全委員会事務局審議官から、現職の審議官にご就任されました。



講演会で挨拶する都筑副会長



岡野審議官のご講演

講演では、「都市鉄道の現状について」という演題で、①令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算案における鉄道関連予算及び税制の概要②なにも筋線整備、東京メトロ有楽町線及び南北線の延伸等の都市鉄道の整備状況③最近の動向として、コロナ禍前とコロナ禍後における直近の輸送状況や決算状況、運賃・料金に関する各社の取組や制度の見直し、鉄道駅のバリアフリー化及びローカル鉄道の再構築等多岐にわたる項目について、詳細な資料に基づいてご説明していただきました。鉄道行政の現状と課題、都市鉄道のあり方と今後の方向性などが凝縮された、各鉄道関係者の今後の経営にとって非常に示唆に富む、有意義なご講演でした。

(注) 必要に応じ、社局内への転送、回覧などをお願いいたします。

配信先の変更又は追加をご希望の場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

また、本短信についてのご意見、ご要望等もお寄せ下さい。 連絡先: hashida@jametro.or.jp